

5. 10. 1
年 1749

勞務第三三六五號

昭和五年九月十九日

警視總監 丸山鶴 吉

内務大臣安達謙藏殿
社會局長 官殿

小穴製作所労働争議ニ関スル件 (第三報)

要旨 九月廿五日、林官日ノ会見ニ於テ職工側ハ十四日分ノ予告手当、初終手当及
其他ニ至テ月分ノ解雇手当ノ支給ヲ要求シタルニ会社側ハ之ヲ拒
絶シタルヲ以テ職工側ハ怠業ヲ継続中ナリ

標榜労働争議ニ関シテハ既報ノ通ナルカ其後ノ状況左
ノ通

也トシテ先だ、先般ハシタ金庫等ノ取立ナドノ事先だ、檢査ノ望ムハ
多クハ裁償下地ト絶村ヤルモ不手康ナド出、コレヲ以テ餘ト云ハレテ
トハ、先般ハシタリテ取立テ、三ヶ月分ト云ハレテ此等ハかりト檢査の中ハ、新報
對策委員會作テ姉妹工場ノ大東兄弟トカ支那ノ博登トカ直テ、金銀
日本金局指等取立トと檢査中ナド、前般ハ小穴ノ兄弟ト諸君ノ入テ
多ク同業ノ餘部ハヤ方ハドカ、裁償債銀等ト下付取立テテ餘部トカ、
今更ニ其ノ檢査懇談會ニ因テ裁償友社同業ト作テ弱公ノ餘部トカ、コレト
先般裁償ト、小穴ノ兄弟等トセリ取立テテ取立テテカ、
裁償債不能村及村ト
東京鋼板労働争議團有志